

福井市水産業振興プランの概要

基本理念と計画期間

- 【基本理念】 「活力ある水産業の再生！稼げる産業への転換」
 【計画期間】 令和3年度～令和7年度(5年間)
 【目指す姿】
 1:収益性の高い漁業の実現
 2:人材の確保と漁業経営の安定
 3:販売力強化と漁村の活性化



前プランからの課題

- プランに基づき各種施策を実施してきたが、漁獲量や魚価の低迷、漁業者の高齢化や担い手不足、消費者の魚離れ等、多くの課題が解決に至っていない。
 こうした中、本市水産業が地域経済や市民生活を支える重要な産業として持続的に発展できるよう、水産資源を活かしながら漁業生産額を向上するため、幅広い施策を展開する必要がある。
- 地域の特性に適合した養殖の導入、効率的な漁業への転換
 - 地魚の販売力強化による魚価の向上
 - 水産業の未来を担う人材の確保・育成

- 【水産業の現状】
- 主要漁業 定置網漁業、底曳網漁業
 - 漁獲量 912トン(令和元年)
 - 漁業生産額 376百万円(")
 - 漁業経営体数 102経営体(")
 - 漁船数 185隻(")
 - 65歳以上の漁業者の割合 59%(平成30年)

基本方針 1 水産資源の維持と漁業所得の向上

数値目標:

放流魚種数(年間)	3種	4種
養殖魚種数(年間)	3種	4種
スマート水産業の導入(累計)	0経営体	2経営体

基本方針実現のための主な施策

- 栽培漁業の推進
- ヒラメ、アワビ、マダイ、キジハタ等漁業者の要望に応じた放流事業を推進
 - 嶺北地域栽培漁業推進協議会が所有する中間育成施設の運用方法を協議会で検討
 - 魚介類の生息環境を改善するための海底耕うんを支援
 - 漁場環境の保全や景観の美化につながる海岸や河川の清掃活動を支援
- 中間育成施設や漁港の未利用水域を活用した養殖の展開
- 新 漁業者等が取組むサクラマス「ふくい型養殖」やアカモクの養殖、イワガキ養殖研究を支援
 - 新 「閉鎖循環式養殖」手法を利用したバフウニ養殖の支援
- スマート水産業の推進
- 新 漁業者を対象としたスマート水産業に関する勉強会の開催
 - 新 定置網漁業経営体が取り組むIoTやICT等の情報通信技術の導入の支援



ヒラメの放流



養殖サクラマス

基本方針 2 担い手の確保と受入体制の整備

数値目標:

新規就業者数(累計)	9人	7人
漁船機器の更新(累計)	7件	7件
漁港施設の改修(累計)	2箇所	5箇所

基本方針実現のための主な施策

- 担い手の確保・育成
- 都市圏で開催される漁業就業支援フェアに漁協、受入船主とともに出展
 - 福井市での漁業体験を希望する方に対する交通費や宿泊費を支援
 - 定住を促進するため、新規就業者に対し奨励金を給付
 - 漁業に必要な知識や技能を習得する「ふくい水産カレッジ」の研修費用を助成
- 漁業経営の基盤強化
- 預託金の無利子貸付による漁協経営の安定化
 - 国の補助事業等を活用し、適切な更新計画に基づいた水産施設や漁船機器等の更新を支援
- 安全で利用しやすい漁港施設の整備
- 定期点検等を実施し、機能の低下した漁港施設の修繕を計画的に実施
 - 新 漁獲量や漁船数に応じた漁港の統合や漁港機能の集約化を検討



漁業就業者フェア



防波堤の改修

基本方針 3 地魚と漁村の魅力発信

数値目標:

学校での地魚活用(累計)	0件	10件
水産加工品の開発(累計)	0品目	3品目
ECサイトによる水産加工品販売額(年間)	0円	2,000千円
漁業体験活動(累計)	6回	20回

基本方針実現のための主な施策

- 地魚の消費拡大と付加価値向上
- 活締めや神経抜き等の鮮度保持の付加価値化を施した鮮魚のPRや鮮度保持に資する機器導入等の支援
 - 中央卸売市場と連携し、「近海今朝とれ市」の取組の積極的なPR
- 新 学校給食や家庭科での地魚活用を推進
- 特色ある水産加工品の創出と販売促進
- 新 未利用・低利用魚や海藻等を活用した新たな水産加工品の開発を支援
 - 新 市のECサイトを活用し、漁業者等が製造する水産加工品の販売を支援
- 観光との連携による漁村地域の活性化
- 新 直売会や水産イベント、定置網体験漁業などの活動や漁村地域の魅力をSNS等で積極的に情報発信し誘客促進
 - 新 越前海岸盛り上げ隊や地域おこし協力隊等と連携し、漁業体験活動や漁村交流を支援



魚のさばき方教室



わかめづくり体験